

令和6年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【大谷場小学校】

⑥	次年度への課題と授業改善策
知識・技能	
思考・判断・表現	

①	今年度の課題と授業改善策	
	学習上・指導上の課題	授業改善策【評価方法】
知識・技能	【学習上の課題】 基礎的・基本的な知識・技能の定着に、個人差がみられる。 【指導上の課題】 児童が反復・習熟に取り組む時間の設定が不十分である。	⇒ 算数では、TTを効果的に取り入れて指導を行ったり、習熟度別学習を積極的に取り入れて少人数で学習を行ったり、個別最適な学びが行えるような環境を整える。【単元に1回以上】 また、「ドリルパーク」等個別に蓄積されたデータを効果的に活用しながら、漢字や基本的な計算等の反復・習熟に取り組めるようにする。【週に2度の実施】
思考・判断・表現	【学習上の課題】 自分の考えをまとめたり、進んで発信したりすることに意欲的でない場面がみられる。 【指導上の課題】 子どもたちが安心して、主体的に活動できる環境を整えることに関して不十分である。	⇒ 協働的な活動を通して、相手意識をもって適切な表現で考えを書き表し、自信をもって相手に伝えられるような機会を多く取り入れた授業を実施していく。【学習状況調査の「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」の質問項目において、肯定的な回答の割合が80%以上】 児童一人ひとりが、自分の頑張りを素直に認め、他者の頑張りを見つけて認め合える授業を展開していく。【全教員による研究授業の実施】

⑤	評価(※)	調査結果 授業改善策の達成状況
知識・技能		①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等
思考・判断・表現		

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能	①児童生徒による振り返り ②調査問題の解説 ③振り返りの終了報告	
思考・判断・表現		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)

①結果分析(管理職・学年主任等)
②詳細分析(学年・教科担当)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告	中間期見直し
	評価(※)	授業改善策の達成状況
知識・技能		
思考・判断・表現		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)